

決算の概要

平成26年度

平成26年度の決算が、6月2日に開催された第190回組合会で承認されました。
各経理の決算概要は次のとおりです。

経理別収支決算一覧表

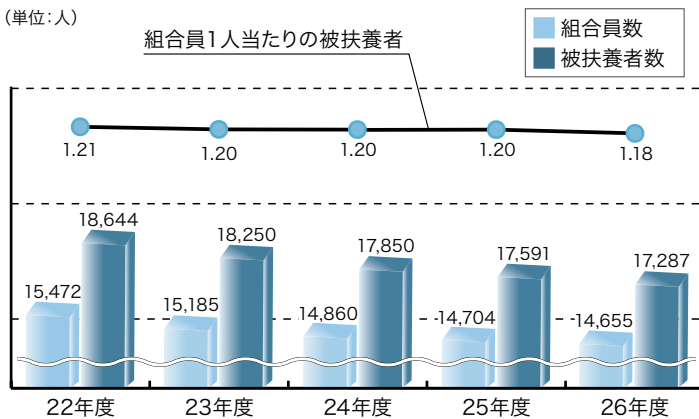
(単位：千円)

区分	収入	支出	当期利益金 (△当期損失金)
短期経理	11,387,632 798,209	11,446,032 772,144	△ 58,400 26,065
長期経理	20,877,313	20,877,313	0
預託金管理経理	123,712	123,712	0
業務経理	240,353	238,115	2,238
保健経理	412,440 6,035	412,595 6,035	△ 155 0
宿泊経理	162,668	145,457	17,211
貯金経理	774,638	562,436	212,202
貸付経理	143,680	143,311	369
物資経理	15,168	11,975	3,193

※短期経理の欄の上段は医療保険、下段は介護保険の収支を示す。
※保健経理の欄の上段は保健事業、下段はメンタルヘルス対策事業の収支を示す。

組合員数と被扶養者数の推移 (任意継続組合員を除く。)

(単位：人)



この経理では、短期給付及び長期給付事業の事務に要する費用を賄っています。

26年度の収入総額は、地方公共団体からの負担金、短期経理からの繰入金及び全国市町村職員共済組合連合会（以下「全国連合会」という。）からの交付金など2億4030万円となりました。

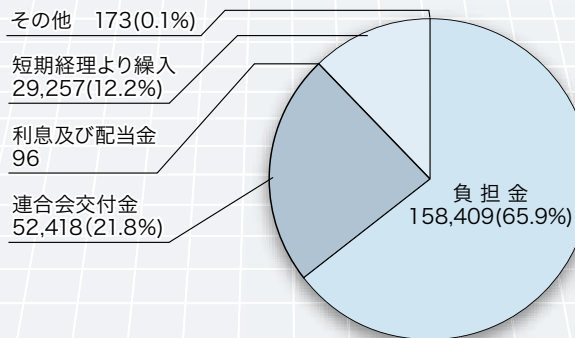
一方、支出総額は、被用者年金一元化等年金関係の普及費が増加しましたが、事務費等諸経費の削減に努めたことにより、2億3810万円となりました。

収支決算の結果、220万円の当期利益金を計上しましたので、全額を積立金として積み立て、翌年度へ繰り越しました。



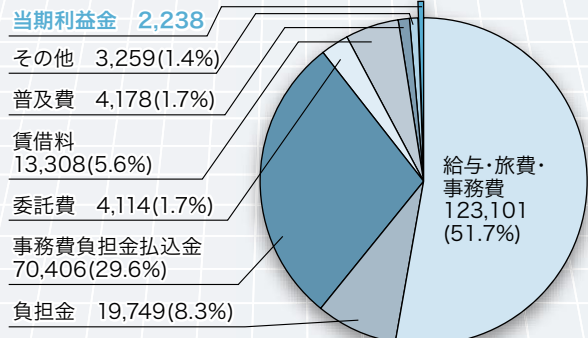
業務経理

収入 240,353 (単位：千円)



()内は収入に占める割合

支出 238,115 (単位：千円)



()内は支出に占める割合

短期経理

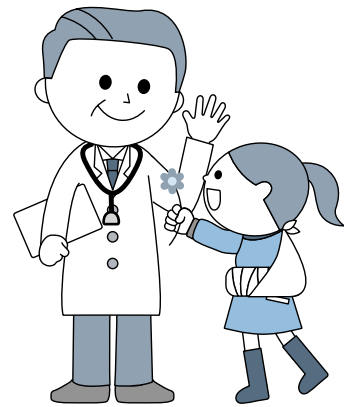
〈短期給付関係〉

26年度は、財源率を前年度より4.16%引き上げた1113.36%とし、前年度に引き続き全国連合会が実施する財政調整事業・特別財政調整事業の交付金（以下「交付金」という。）を受けています。

収入総額は、短期掛金・負担金など1113億8760万円で、財源率の引き上げと7年ぶりの給与のプラス改定の影響から、前年度と比べ5億2390万円の増加となりました。

一方、支出総額は、114億4600万円で、前年度と比べ8億3700万円の増加となりました。主な要因としては、組合員及び被扶養者に係る医療費等は減少したものの、前期高齢者納付金が6億1220万円増加したこと、25年度に交付金を受けていたため、連合会返還金として2億5830万円計上したことが挙げられます。

また、高齢者医療制度に係る拠出金等の支出額に占める割合は、55%



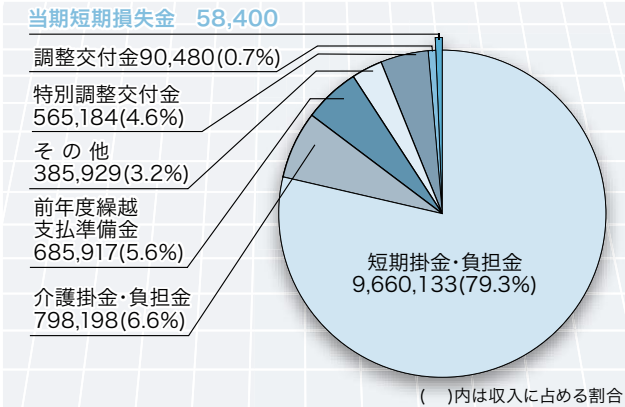
（前年度と比べ2%の増加）を占めており、依然として短期経理の財政を圧迫しています。

収支決算の結果、5840万円の当期短期損失金を計上しましたが、前年度から繰り越した欠損金補てん積立金の一部を取り崩して補てんしました。

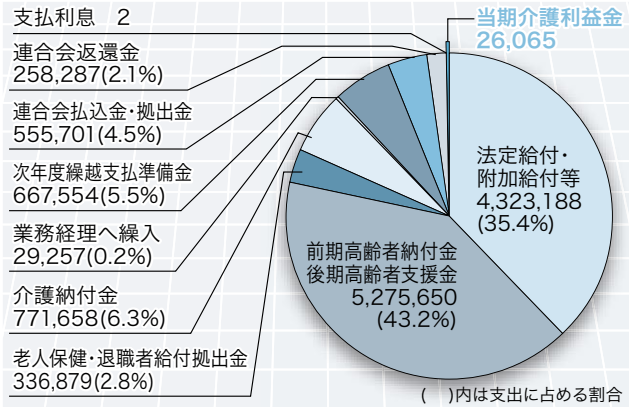
〈介護保険関係〉

26年度は、財源率を前年度より1.2%引き上げた12.16%とし運営した結果、2610万円の当期介護利益金を計上しましたので、前年度から繰り越した介護繰越欠損金に充当し、なお生じる利益金610万円は介護積立金として積立て、翌年度へ繰り越しました。

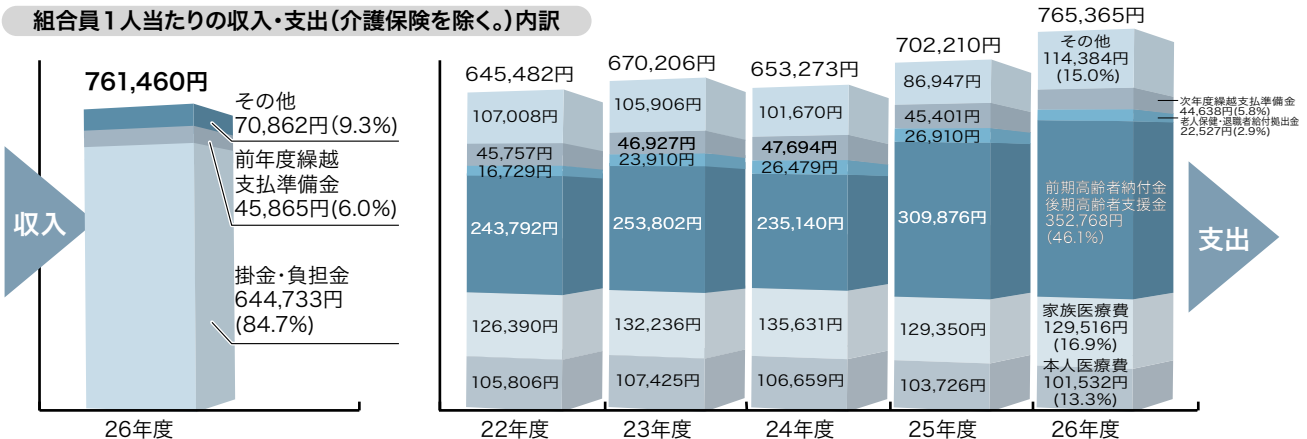
収入 12,185,841 (単位:千円)



支出 12,218,176 (単位:千円)



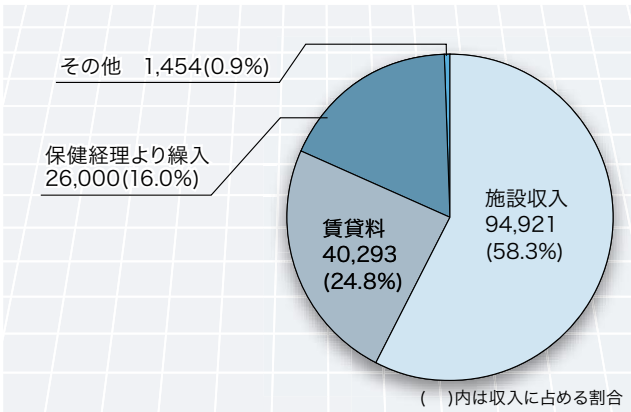
組合員1人当たりの収入・支出(介護保険を除く。)内訳



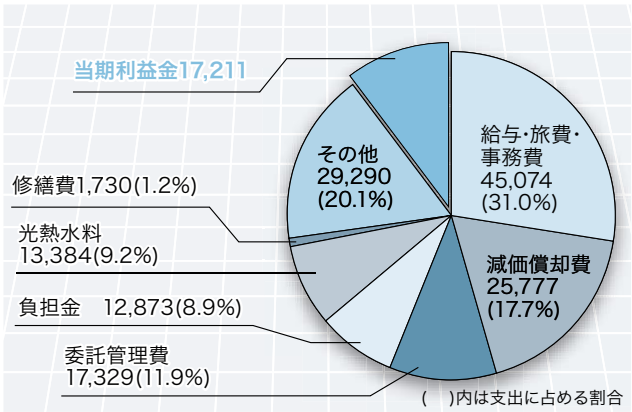
宿泊経理

この経理は「えひめ共済会館」の経営を行う経理です。
 収入総額は、施設収入94,990万円と保健経理からの繰入金26,000万円など1億6,270万円となりました。
 一方、支出総額は、1億4,550万円となりました。
 宿泊利用率が事業計画を7・2ポイント上回る77・2%となったことや、諸経費の節減に努めたことにより、収支決算の結果、17,200万円の当期利益金を計上しましたので、全額を積立金として積み立て、翌年度へ繰り越しました。
 共済会館では、安全・安心・快適な施設運営を心がけるとともに、引き続き健全運営に努めてまいります。
 また、4月には1階にお食事処「旬彩伍縁」がオープンし、9月まで開催日限定のビアバイキング（本誌裏面）を開催しておりますので、是非ご利用ください。

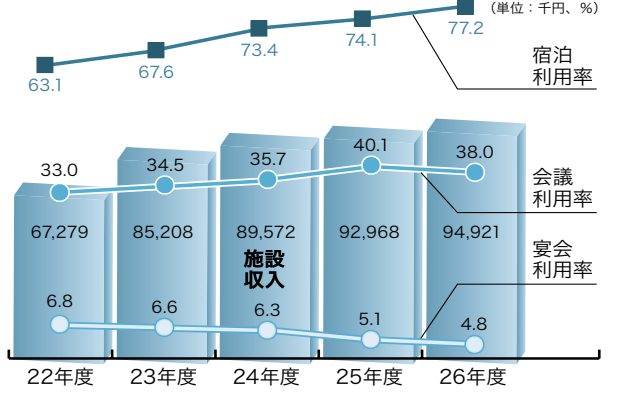
収入 162,668 (単位:千円)



支出 145,457 (単位:千円)



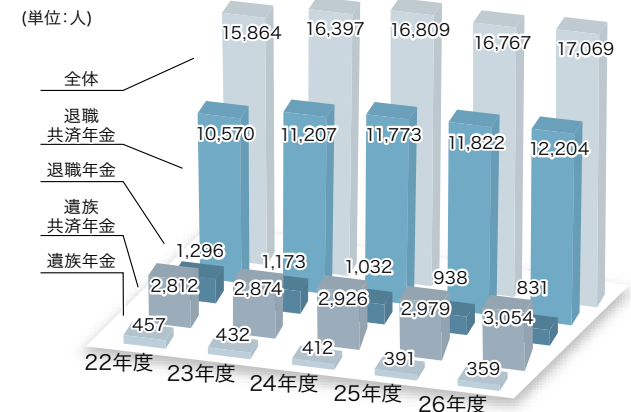
えひめ共済会館施設収入及び利用率の推移 (単位:千円、%)



長期経理

この経理は、年金の原資となる長期掛金・負担金を収納し、全国連合会へ納付する経理です。
 26年度は、208億7730万円を収納し、全額を全国連合会へ納付しました。
 年金受給者数は、対前年度比302人増の1万7069人となっています。
 また、26年度末における退職共済

年度別年金受給者数の推移 (単位:人)



年金受給者数及び平均年金額 (単位:人、円)

区分	受給者数	平均年金額
退職共済年金	12,204	1,239,758
遺族共済年金	3,054	1,287,898
退職年金	831	2,089,198
遺族年金	359	1,166,055

年金受給者の平均年金額は123万9758円となっています。

貸付経理

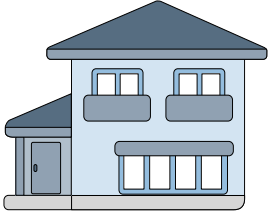
この経理は、年金原資である積立金を預託金管理経理から借り入れて、組合員の皆さまに資金の貸付けを行う経理です。

収入総額は、組合員貸付金利息1億4230万円などの1億4370万円となりました。

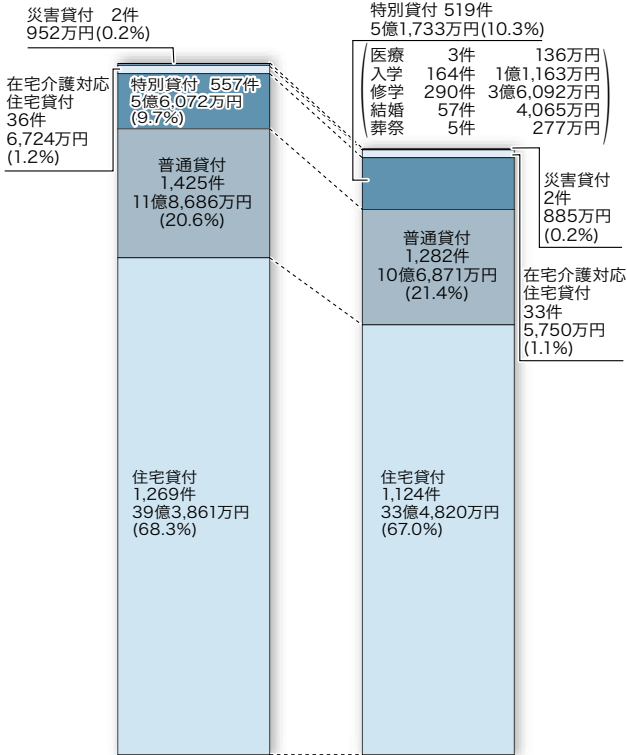
一方、支出総額は、支払利息1億2070万円などの1億4330万円となりました。

収支決算の結果、40万円の当期利益金を計上しましたので、全額を積立金として積み立て、翌年度へ繰り越しました。

なお、新規の貸付は前年度に比べ、件数は11件減少し、金額は3800万円増加しましたが、年度末の組合員貸付金は、前年度に比べ7億6240万円減の50億60万円と減少傾向が続いています。



組合員貸付金の状況

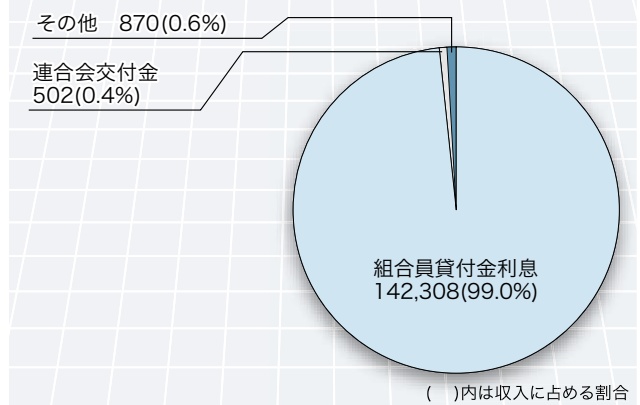


平成25年度
合計 3,289件
57億6,295万円
(平成26年3月31日現在)

平成26年度
合計 2,960件
50億59万円
(平成27年3月31日現在)

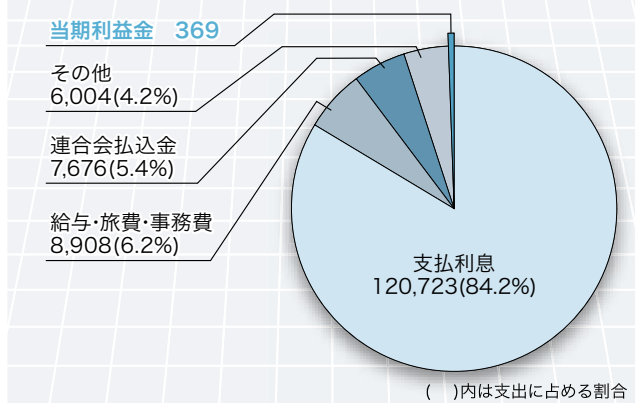
収入 143,680

(単位:千円)

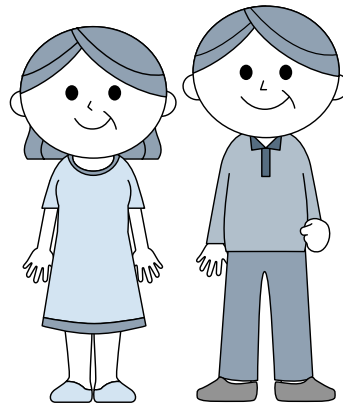


支出 143,311

(単位:千円)



預託金管理経理



この経理は、全国連合会から年金積立金の一部の預託を受けて、管理・運用を行う経理です。

収入総額は、運用により生じた利息及び配当金など1億2370万円で、全額を全国連合会へ払い込むこととなります。

資金運用に関する情報は、本組合のホームページで7月1日に公開しています。

貯金経理

この経理は、組合員の皆さまの生活設計に寄与することを目的とした「共済貯金事業」を行う経理です。

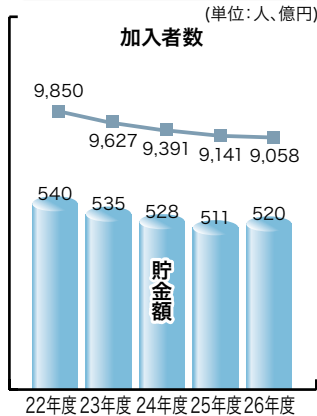
貯金残高は、26年度から開始した、期末勤続手当からの定例積立の影響もあり前年度末より8億8830万円増加し、貯金加入率も0.09ポイント増加の60.76%となりました。

収入総額は、資金運用による利息及び配当金など7億7460万円で、前年度と比べ1億6580万円の減少となりました。

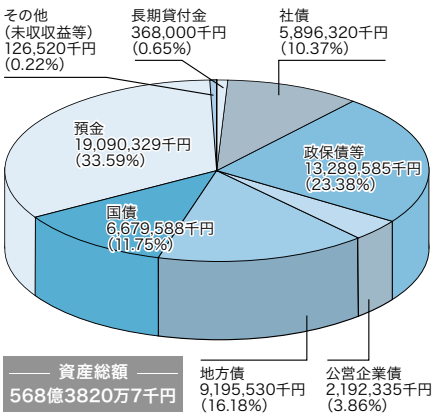
一方、支出総額は、支払利率を昨年度と同様の1.0%で運営した結果、支払利息5億1160万円など5億6240万円となりました。

収支決算の結果、2億1220万円の当期利益金を計上しましたので、全額を積立金として積み立て、翌年度へ繰り越しました。

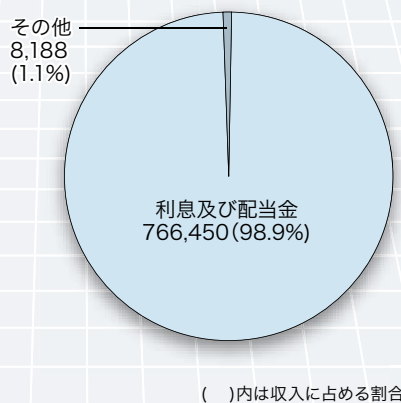
組合員貯金額・加入者数の推移



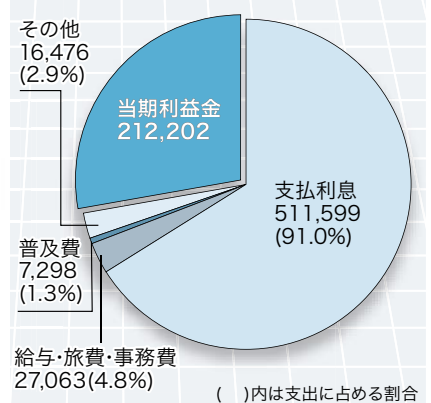
【平成26年度決算 貯金経理 資産構成割合】



収入 774,638 (単位:千円)



支出 562,436 (単位:千円)



物資供給事業販売状況 (単位:件、千円、%)

販売品目	件数	金額	割合
自動車	116	151,008	96.9
自動二輪車	3	2,198	1.4
家具	1	1,580	1.0
家電製品	1	285	0.2
時計・貴金属	2	216	0.1
その他	6	596	0.4
合計	129	155,883	100.0

物資の販売件数は129件で、販売金額は前年度より3390万円減の1億5590万円となりました。

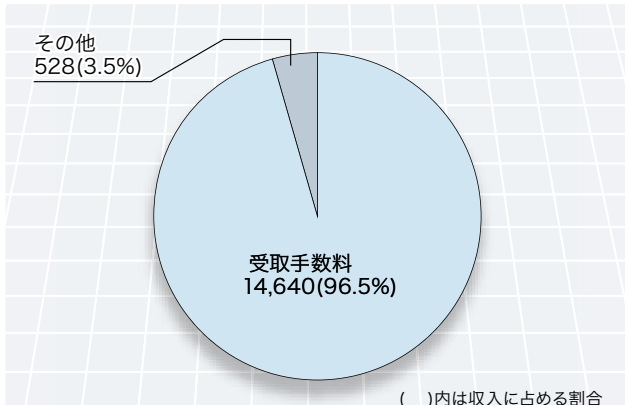
収支決算の結果、320万円の当期利益金を計上しましたので、全額を積立金として積み立て、翌年度へ繰り越しました。

収入総額は、指定店からの受取手数料など1520万円となりました。

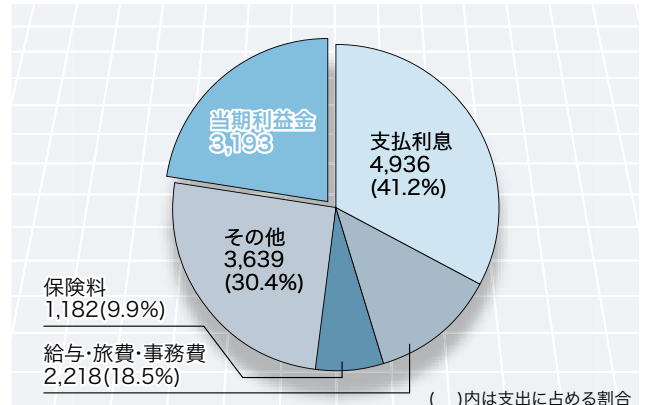
一方、支出総額は、支払利息や貸付事故に係る保険料など1200万円となりました。

物資経理

収入 15,168 (単位:千円)



支出 11,975 (単位:千円)



平成26年度決算概要

保健経理

この経理は、人間ドックの利用助成等、組合員及びその被扶養者の健康の保持・増進事業と特定健康診査及び特定保健指導を行う経理です。

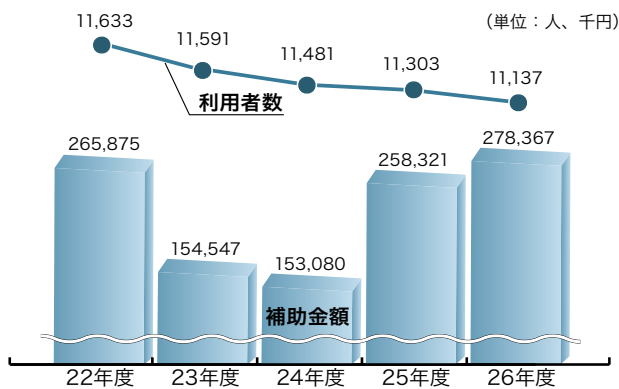
収入総額は、掛金・負担金のほか、県・市町連携によるメンタルヘルス対策事業に係る県・市町等からの補助金600万円を含め、4億1840万円となりました。

一方、支出総額は、一件当たり助成額を3000円引き上げ2万7000円で運営してきた人間ドック等の利用助成2億7840万円や県・市町連携によるメンタルヘルス対策事業600万円を含む厚生費3億1430万円、特定健康診査等費1610万円等で、4億1860万円となりました。

収支決算の結果、16万円の当期損失金を計上しましたので、前年度から繰り越した積立金の一部を取り崩して補てんしました。

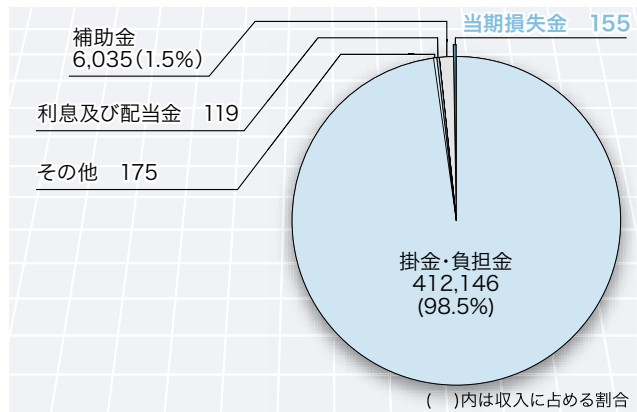
なお、県・市町連携によるメンタルヘルス対策事業の相談件数は、新規393件、延件数857件となっております。

人間ドック・脳ドック利用者数及び補助金額の推移



(備考) 人間ドック等利用助成金を平成25年度は14,000円から24,000円に、平成26年度は27,000円に引き上げた。

収入 418,475 (単位:千円)



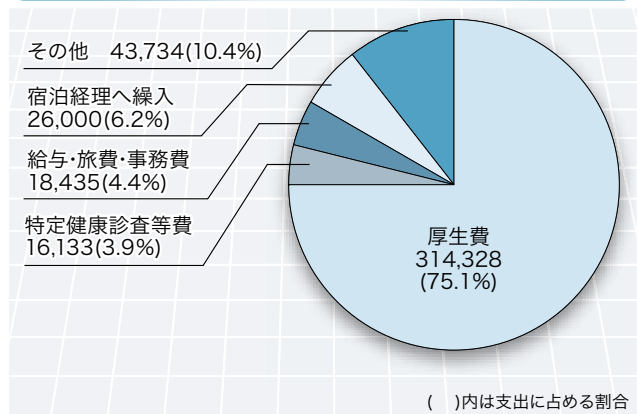
()内は収入に占める割合

保健事業実施状況

(単位:千円)

項目	金額	割合
人間ドック利用助成	273,167	82.7
脳ドック利用助成	5,200	1.6
特定健診・特定保健指導	16,133	4.9
愛媛共済会館利用助成	10,678	3.2
がん検診等補助	6,059	1.8
福祉施設利用助成	931	0.3
インフルエンザ予防接種補助	8,105	2.4
県・市町連携メンタルヘルス	6,015	1.8
その他	4,173	1.3
合計	330,461	100.0

支出 418,630 (単位:千円)



()内は支出に占める割合



原田満範氏 再選

学識経験監事



任期満了に伴う学識経験監事の選挙が、6月2日開催の第190回組合会において行われました。

その結果、原田満範氏(公認会計士)が再選されました。

任期は、平成27年6月28日から平成29年6月27日までの2年間です。

